

事業報告

■ 保健・医療分野

基礎保健事業 (パキスタン赤新月社/連盟)

被災村への巡回診療 (MHU) を通じて、出産前後ケア、保健教育、予防接種、地域特有の流行病への対処等、予防に重点を置いた医療活動を行うとともに、救急法 (FA)、地域社会に根ざした救急法 (CBFA) のトレーニングも実施しています。



(包帯の使い方についての実践練習)

義肢センター建設及び機材支援 (パキスタン赤新月社/ICRC)

日本赤十字社が資金を拠出し、ICRC がアザド・ジャンム・カシミール州 (以下、カシミール州) のムザファラバードに建設していた義肢センターが2007年10月に完成しました。ムザファラバードで初めての理学療法及び義肢製作を備えた整形外科施設で、義肢の製作、患者の診察と検査、義肢装着後の訓練などを行っています。



(義肢製作中の様子)



(歩行訓練中の様子)

給水・衛生施設の再建（カシミール州：パキスタン赤新月社／ICRC）

アクセスが困難な山峡部にある被災地にて、被災者が安全な水を確保し、健康状態を改善していくために、湧水を活用した重力式給水施設を再建しています。



（再建された給水スタンド（カシミール州））

給水・衛生施設の再建（北西辺境州：パキスタン赤新月社／連盟）

被災者の生活基盤となる給水施設の再建とともに、水に関する病気を未然に防ぐためのトイレ建設と、衛生教育を普及する活動を組み合わせて実施しています。



（整備されたトイレ概観）



（衛生教育活動の様子）

■ 災害対策分野等 (パキスタン赤新月社/連盟)

救援物資の備蓄及び配付

2006年12月から2007年3月まで、発災から2度目の冬を迎えた被災者に対して耐寒物資等を配付する越冬支援を行いました。



(ヘリコプターから救援物資を運び出すスタッフたち)



(救援物資の配付活動の様子)

生活再建支援等

地域共同体に不可欠な連絡道路や灌漑設備などの小規模なインフラ再建や、被災者の自立と生活再建に向け、生産向上を目指した農業指導を支援しています。



(園芸農家指導員養成訓練の様子)

■ 教育分野等（パキスタン赤新月社／連盟）

学校建物の再建（3校）

被災した中学校の再建を進めています。このうち北西辺境州の男子中学校1校は近く完成する見込みです。



（建設中のショハル・ナジャフ・カーン男子中学校（北西辺境州））

コミュニティ／職業訓練センター建物の建設（2ヶ所）

被災した職業訓練センターの再建（カシミール州）に加え、新たにパキスタン赤新月社の県支部内に1ヶ所を建設する予定です。

■ パキスタン赤新月社災害対応能力強化（パキスタン赤新月社／連盟）

県支部の建設（2ヶ所）

災害多発国であるパキスタンで、今後も救援活動の中核を担うパキスタン赤新月社の災害対策能力を強化するため、同社の県支部建設を支援しています。

事業予算計画 事業費総額 23 億 4,546 万 1,578 円

緊急救援事業 (実施済)

緊急医療救援事業 (医療班派遣、救援物資の購入・供与、連盟・ICRC の緊急救援アピール対応)	14 億 2,493 万 4,964 円
--	----------------------

復興支援事業 2006 年 9 月～2009 年 12 月 (予定)

基礎保健支援事業 (パキスタン赤新月社/連盟)	8,000 万円
義肢センター建物建築及び機材支援 (パキスタン赤新月社/ICRC)	1 億円
給水・衛生施設の再建 (カシミール州：パキスタン赤新月社/ICRC)	1 億 1,000 万円
給水・衛生施設の再建 (北西辺境州：パキスタン赤新月社/連盟)	1 億 5,400 万円
救援物資の備蓄及び配付 (パキスタン赤新月社/連盟)	1 億円
生活再建支援等 (パキスタン赤新月社/連盟)	4,000 万円
学校建物の再建 (中学校 3 校) (パキスタン赤新月社/連盟)	1 億 2,000 万円
コミュニティ/職業訓練センター建物の再建 (パキスタン赤新月社/連盟)	5,900 万円
パキスタン赤新月社被災県支部建物新設 (パキスタン赤新月社/連盟)	9,600 万円
復興事業のための要員派遣、本社事業管理費、今後発掘する支援ニーズ、物価高騰、為替レート変動への対応 等	6,152 万 6,614 円